

1 事業名

「体験の風をおこそう」運動協賛事業

平成27年度教育事業「kids together えいご de キャンプ in テンパーク」

2 趣旨(事業の目的)

東日本大震災の被害を受けた岩手県内沿岸市町村の陸前高田市・大船渡市・釜石市・宮古市・久慈市・住田町・大槌町・山田町・岩泉町・田野畑村・洋野町・野田村・普代村の児童生徒に対し復興支援の一環として、様々な自然体験活動や英語を使った国際交流活動を行い、同郷の友達と交流やふれあいを深めるとともに、豊かな心を育み心身のリフレッシュの機会とする。

3 期日

- ①平成27年 5月23日(土)～24日(日) 1泊2日
- ②平成27年 7月25日(土)～27日(月) 2泊3日
- ③平成27年10月11日(日)～12日(月) 1泊2日
- ④平成27年12月12日(土)～13日(日) 1泊2日
- ⑤平成28年 2月27日(土)～28日(日) 1泊2日
- ⑥平成28年 3月26日(土)～27日(日) 1泊2日
- ⑦平成28年 3月28日(月)～29日(火) 1泊2日

4 参加者

陸前高田市・大船渡市・釜石市・宮古市・久慈市・住田町・大槌町・山田町・岩泉町・田野畑村・洋野町・野田村・普代村の小学校3年生～中学校3年生

- ①小学校3年生～中学校3年生 25名
ボランティア 8名(NICE ボランティア 5名, HSBC 社員ボランティア 3名)
- ②中学校1年生～中学校3年生 21名
ボランティア 20名(NICE ボランティア 15名, HSBC 社員ボランティア 5名)
- ③小学校3年生～中学校3年生 204名
ボランティア 57名(NICE ボラ 28名, HSBC 社員ボラ 4名, 岩手山ボラ 25名)
- ④小学校3年生～中学校3年生 124名
ボランティア 61名(NICE ボラ 24名, HSBC 社員ボラ 4名, 岩手山ボラ 33名)
- ⑤中学校1年生～中学校3年生 16名
ボランティア 7名(NICE ボラ 3名, HSBC 社員ボラ 4名)
- ⑥小学校6年生～中学校3年生 61名
ボランティア 18名(NICE ボラ 11名, HSBC 社員ボラ 7名)
- ⑦小学校6年生～中学校3年生 44名
ボランティア 14名(NICE ボラ 11名, HSBC 社員ボラ 3名)

5 連携・協力

- (1) 主催: NPO法人日本国際ワークキャンプセンター(NICE)
- (2) 共催: 国立岩手山青少年交流の家
- (3) 協賛: HSBCグループ, Water Dragon Foundation, みちのく「体験の風をおこそう」運動推進協議会
- (4) 協力: 自然遊びクラブ, 株式会社岩手ホテル&リゾート
- (5) 後援: 宮古教育事務所, 沿岸南部教育事務所, 県北教育事務所

6 内容

(1) 日程

- ①【第1日目 5月23日(土)】小岩井農場・ホテル志戸平
英語のゲーム・小岩井農場探検・宮澤賢治童話語り部
【第2日目 5月24日(日)】小岩井農場・ホテル志戸平
英語に親しもう-英語のゲーム-英語の歌を歌ってみよう
- ②【第1日目 7月25日(土)】安比高原
チームビルディングゲーム・テント設営・野外炊事
【第2日目 7月26日(日)】安比高原
マウンテンバイク体験・英語で発表会
【第3日目 7月27日(月)】安比高原
思いで創作体験
- ③【第1日目 10月11日(日)】国立岩手山青少年交流の家
森のウォークラリー・ハロウィンパーティー(ミュージックプログラム)
【第2日目 10月12日(月)】国立岩手山青少年交流の家
ハロウィンパーティー(クラフトワークショップ, インターナショナルゲーム, 音楽・科学・スポーツ
体験)
- ④【第1日目 12月12日(土)】盛岡市アイスリンク・アイスアリーナ, 国立岩手山青少年交流の家
スケート体験教室・クリスマスコンサート
【第2日目 12月13日(日)】国立岩手山青少年交流の家
クリスマスパーティー(クラフトワークショップ, インターナショナルゲーム, 音楽・科学・スポーツ
体験)
- ⑤【第1日目 2月27日(土)】安比高原
スキー・スノーボードレッスン, 国際交流ゲーム
【第2日目 2月28日(日)】安比高原
スキー・スノーボードレッスン, ポールバーンに挑戦
- ⑥【第1日目 3月26日(土)】安比高原
スキー・スノーボードレッスン, 国際交流ゲーム
【第2日目 3月27日(日)】安比高原
スキー・スノーボードレッスン
- ⑦【第1日目 3月28日(月)】安比高原
スキー・スノーボードレッスン, 国際交流ゲーム
【第2日目 3月29日(火)】安比高原
スキー・スノーボードレッスン

(2) 指導者

自然遊びクラブ	豊留 雄二 氏
NPO法人日本国際ワークキャンプセンター(NICE)	上田 英司 氏
岩手山青少年交流の家 企画指導専門職	丹 康浩 , 中村 聡
事業推進係	及川未希生, 高橋知也
イーハトーヴォ安比高原自然学校	5名
岩手県スケート連盟公認指導員	10名
ICT 音楽教育家	鈴木 正樹 氏
夜長三丁目カルテット	寺山 貴大 氏
安比高原 スキー, スノーボードインストラクター	

(3) 企画のポイント

東日本大震災の被害を受け仮設住宅で暮らす子供たちや、学校の校庭に仮設住宅が立ち並び、十分な遊びができない子供たちが、思いっきり遊ぶことのできる体験プログラムを設定した。事前に安全管理意識を高めるための綿密な打ち合わせを実施したことで、交流の家、HSBC、NICE のスタッフ間で密な連携をとることができ、プログラムを安全に進めることができた。各回のプログラムでは、チームで協力したりチャレンジしたりする機会を多く設定した。その際、仲間と支え合い交流を深めるとともに楽しみながら英語に触れ国際理解を深めることができるように外国人ボランティアと密な打ち合わせを行った。

(4) 広報のポイント

宮古教育事務所、沿岸南部教育事務所、県北教育事務所の理解と協力を得て、事務所管内の小学校・中学校にチラシを配布し、企画の周知を行った。

(5) 運営のポイント

「えいご de キャンプ」は、HSBC グループのコーポレート・サステナビリティ(社会貢献)事業の一環で行われている。また、委託先である主催団体の NICE は、青年向けの国際ワークキャンプ団体である。

NICE は、組織としての運営ノウハウを高いレベルで有しているが、青少年に関わるための教育的ノウハウや、安全に野外活動を実施するための指導力の確保が課題である。そこで、開催地である岩手山青少年交流の家が職員及びボランティアを派遣することで教育的ノウハウを補完し、同じく開催地の団体である「自然遊びクラブ」が野外活動の安全面についてコーディネートすることで、事業の効率的かつ質の高い運営を実現している。

交流の家を含めた4つの団体は「沿岸地域の児童を支援する」という目指すべきミッションを共通で認識しており、それぞれの団体が、その特性を存分に活かすことで有機的な協力関係を実現している。

NICE のキャンプ運営ノウハウ、HSBC グループの多国籍社員スタッフの派遣、自然遊びクラブの野外活動スキル、そして岩手山青少年交流の家の教育的ノウハウが密接に絡み合い、事業を運営している点が本事業における最大の運営ポイントであるといえる。

7 成果とその普及

子供達の感想からは、「友達もたくさんつくることができたし、パーティーも楽しかった。外国の人ともいろいろなゲームができてとても楽しかった。」「外国の人に教えてもらいながらいろいろな国のことや言葉を学ぶことができた。」「英語を使うゲームで外国の人と話ができるようになったし、新しい友達が出てとても楽しかった。またこのキャンプに参加したい。」などの感想が寄せられた。このことから、キャンプの特徴である外国語圏のスタッフとの国際交流やコミュニケーション・友達同士の交流を通して心身共にリフレッシュでき、活動内容の有効性が認められたと考えられる。また、普段外国の人と接することが少ない子供たちにとってこのキャンプは、外国語圏のスタッフとコミュニケーションを図る大変良い機会となった。様々な活動をともに行うことで英語を身近なものと感じることができた。

また、「えいご de キャンプ」では、平成25年度から継続して参加者の「情動知能(EQSC)」調査を実施している。データの分析から震災が被災地の子供に対する心理的な影響が明らかとなってきている。このことから、調査結果をより詳細に分析することは、子供たちの実情に合わせたケアやプログラムを考える上で非常に有効な情報となると考えられ、今後もデータの蓄積を行うとともに多角的に分析を行っていきたい。

企画の概要・報告書等はHPへの掲載、館内に写真を掲示し利用者への紹介をとおして幅広く普及に努めた。

8 今後の課題

毎回、季節に応じたプログラムを提供しているが、さらに、HSBC・NICE等との連携を深め、外国人スタッフと英語を用いた活動プログラムを開発し、プログラム全体を改善しながら事業展開を行っていきたい。



外国人と初めての交流



MTB ミニツーリング



ハロウィンパーティー



インターナショナルゲーム



スケートにチャレンジ



クリスマスコンサート